

実践事例テーマ

「地域通貨に挑戦！ 地域の元気を応援する掛スポ」

1. 想いは「ドラエモンポケット」で地域のために！

掛川市体育協会（以下、掛川体協）の想いは、生涯スポーツの推進や健康づくり、人づくりそして元気なまちづくりを支援することですが、その推進役は活動開始6年目の掛川総合スポーツクラブ（以下、掛スポ）です。

今年より新たな事業として、農作業による人づくりや食育の推進を目的とした体協農園（掛ファーム）の取り組み、地域の「いいこと」を「いいこと」でささえあうしくみとして体協地域通貨の発行、また地域資源を活用したグリーンツーリズム事業にも挑戦しています。

これらの新規事業は、掛川体協が推進する「掛川・大家族構想」で、地域のための世代を超えた取り組みです。「こんなことがあれば楽しいな！ あんなことできたらいいな？」という「ドラエモンのポケット」の発想なのです。

これらの事業の要は掛スポで、これまで培った地域の掛スポ会員2,000名強とその関係者や、全国にあるクラブとのネットワークづくりなどの事業を推進しています。

現在、掛スポが取り組んでいる活動は「スポーツ好きの子どもの育成」ですが、特に子どもの体づくりや健康づくりには食事が重要で、掛ファームでの身近な農作業体験は野菜に興味を持つことに繋がり正しい食生活の向上に寄与します。これは食育の原点で、スポーツ活動だけでなく農作業も子どもの体づくりと人づくりに貢献している訳です。

2. 掛川体協地域通貨は、地域の「いいこと」を応援するしくみ

掛スポでは様々なクラブライフイベントに挑戦していますが、これらの運営はボランティアに支えられています。そのお礼に何かできないかという想いが、地域通貨導入のきっかけです。

そこで発想したのが掛川体協地域通貨で、その愛称は「掛マネー『い〜さ』」です。

その想いは、地域住民の健康づくりや人づくり、そして元気なまちづくりを支援することで、地域の「いいこと」を「いいこと」で支えあうしくみです。

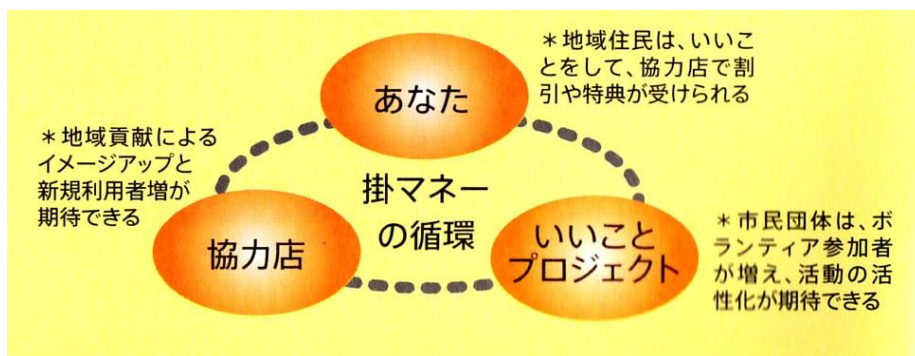


「い〜さ」は視覚障害者にも配慮しています。

地域通貨「い〜さ」

地域住民と掛スポなどの市民団体、そして地域の協力店の3者がスクラムを組み、それぞれがボランティア奉仕することで地域づくりに貢献するという発想です。

例えば、地域住民は掛スポなどでボランティア活動をする



掛川体協地域通過のしくみ（総合ガイドブック P2 より）

「い〜さ」がもらえ、その「い〜さ」は登録された協力店で「優待特典」を受けることができます。

現在、登録している「いいことプロジェクト（市民活動団体や行政など）」は約20団体で、それぞれの活動参加者にそのお礼として規定による「い〜さ」を配布しています。

また、その「い〜さ」をもらった住民は、市内の登録協力店約100店で「い〜さ」と引き換えに店が定めた「優待特典」（代金の1割まで利用可能や割引・プレゼントなど店によって異なる）を受けることができます。

回収した「い〜さ」は現金に換金できません。協力店の優待は地域を支えるボランティアなのです。



「い〜さ」をお店にて使用



この仕組みが「地域住民と市民団体そして協力店」3者が協働で展開する、地域の「いいこと」を応援するしくみです。

「い〜さ」の流通は今年の6月より開始され、通貨事務局が「いいことプロジェクト」に発行した量は約230万「い〜さ」です。まだ半年程度なので、実際活動に参加し「い〜さ」を手にした住民は、実際の流通量の2〜3割程度と推定されます。

また、掛ファームでは、掛スポ会員やスポーツ少年団などを対象とした農作業ボラン

ティアも受け入れており、このお礼にも「い〜さ」が配られます。農園で収穫された新鮮野菜は毎週土曜日の「さんりーな朝市」でも販売され、ここでも「い〜さ」が利用できる訳です。

3. 地域住民と協力店の満足感を高めるしくみづくりが大切！

今後の取り組むべき課題は、いかに多くの地域住民に参加していただき、「い〜さ」の通貨流通量を増やすことができるかです。

地域通貨は、参加者が多いほどその効果は高まります。「い〜さ」がもらえる活動自体の楽しさを演出するとともに、協力店の優待特典をシンプルにすることで、地域住民の興味や満足感を引き出してまいります。

次に協力店の満足感の確保です。「い〜さ」の受け皿となる協力店で回収した「い〜さ」がそのまま滞留してしまうと、さらなる循環が途切れます。

協力店で回収した「い〜さ」は市民団体への寄付をお願いすると共に、協力店独自の地域貢献活動の「いいこと」活動として、例えば「マイ箸やマイバック」運動の協力者に「い〜さ」を配布していただきたいと考えています。「い〜さ」の流通循環で掛スポや市民団体の活動が活性化し、地域の協力店も地域貢献によるイメージアップで経済的にも利用促進の効果が期待できます。

掛スポは、スポーツプログラムだけではない世代を超えたクラブ独自の「ドラエモンのポケット」を確保することで、今後も地域の元気を応援してまいります。

▼これらの新規事業の詳細は「掛スポのホームページ(kakespo.com)」をご覧ください

<http://kakespo.com>

(板垣晶行 掛川総合スポーツクラブ セネラルマネジャー)

【掛川総合スポーツクラブ(通称:掛スポ) プロフィール】

1. **設立** 平成17年2月、同年4月より活動開始
2. **人口** 掛川市 約11万5千人
3. **クラブ** 会員数：2,030名（平成22年10月現在）
特 徴：方針「いつでも、だれでも、なににでも挑戦できるクラブ」
推進母体：NPO法人掛川市体育協会

4. 連絡先

〒436-0043 静岡県掛川市大池 2250 （総合体育館さんりーな内）

TEL：0537-61-1910 FAX：0537-61-1911

HP：<http://kakespo.com>